

令和5年度 第2回川口市上下水道事業運営審議会会議録

<p>司 会 (上下水道総務課 庶務係長)</p> <p>宇田川会長</p>	<p>1 日 時 令和6年1月31日(水) 開始 午後 1時58分 終了 午後 3時10分</p>
	<p>2 場 所 水道庁舎5階 大会議室</p>
	<p>3 議 題 ○報告事項 (1) 令和4年度川口市水道事業会計決算について (2) 令和4年度川口市下水道事業会計決算について (3) 令和5年度上下水道事業評価(中間)の結果について ○その他</p>
	<p>4 出席者 審議会委員</p> <p>会長 宇田川 好秀、副会長 増田 泰久、小野寺 秀明、 千野根 弘剛、山口 俊子、厚井 富子、増田 壽雄、 寺田 美雅、田中 宏明、高田 淳、若松 賢志、 増井 真也、泉 淳子、松本 南美子の各委員 (欠席委員：高橋 幸江委員)</p> <p>市側 小池上下水道事業管理者、沼口管理部長、田中事業部長、 本多上下水道総務課長、青木財務課長、後藤料金課長、 釣上水道維持課長、小島上水道建設課長、池上浄水課長、 高木下水道維持課長、山本下水道建設課長、 秋場ポンプ場管理センター所長 漆山上下水道総務課庶務係長、高橋上下水道総務課経営企画係長、 村上財務課上水道財務係長、合田財務課下水道財務係長、 田中上下水道総務課庶務係主任、大栗上下水道総務課庶務係主事</p>
	<p>5 議事内容【要点筆記】</p> <p>(開始 午後 1時58分)</p> <p>本日の出席委員は14名で過半数が出席しているため、この会議は成立している。</p> <p>宇田川会長に挨拶を願う。</p> <p>(宇田川会長の挨拶)</p>

司 会	事務局を代表して、上下水道事業管理者から挨拶を行う。
管理者	(管理者挨拶)
司 会	これより、会議の進行については、審議会設置条例第 6 条第 1 項により会長に議長をお願いする。
議 長	審議会は原則公開となっており、本日の傍聴希望者は 1 名である。 傍聴人にお入りいただく。
議 長	報告事項(1) 令和 4 年度川口市水道事業会計決算について、事務局に説明を求め る。
財務課長	(資料に基づき、説明する。)
議 長	質問等があれば、お願いする。
委 員	水道事業は厳しい経営状況であるとのことだが、今後その解消のために水道料金 に上乘せすることは現在考えているのか。
上下水道総務課長	現在、経営状況は非常に厳しい状態であることを説明したが、上下水道局において 経費削減などの取り組みを講じているところである。しかしながら資材価格や人件 費単価の急激な上昇も起きており、今後財源の確保については、料金改定も視野に入 れた収入確保や業務の効率化を図り、上下水道局全体一丸となって行っていく予定 である。
議 長	他に質問等があれば、お願いする。 (質問なし)
議 長	報告事項(2) 令和 4 年度川口市下水道事業会計決算について、事務局に説明を求 める。
財務課長	(資料に基づき、説明する。)
議 長	質問等があれば、お願いする。
委 員	支出について、建設改良費のうちポンプ場建設改良費の執行率が低いがなぜか。
財務課長	契約時に予算額との差額が出たこととともに、繰越事業といい、令和 4 年度に完了 しなかった事業を次年度に繰り越したため執行率が低くなっている。
委 員	災害対策や古くなったものを新しくするような計画は計画通り進んでいるという ことでよいか。

財務課長	令和4年度に計画した事業は計画通り進んでいる。
議 長	計画通り進んでいるとのことだが、繰越事業が発生しているのだから多少遅れてはいるが事業は進めているということではないか。
財務課長	繰り越しているため令和4年度の計画としては少し遅れているが、繰り越した事業は今年度をもって完了する予定であり、事業を進めることはできている。
議 長	他に質問等があれば、お願いします。 (質問なし)
議 長	報告事項(3)令和5年度上下水道事業評価(中間)の結果について、事務局に説明を求める。
上下水道総務課長	(資料に基づき、説明する。)
議 長	質問等があれば、お願いします。
委 員	今年の1月に震災があり、水道事業の大切さを改めて感じた。その中で耐震適合率という言葉があり、厚生労働省のホームページで耐震化の可視化の指標として使っているようである。この指標について川口市と近隣市の状況も含め説明して欲しい。
上水道建設課長	耐震適合率について、川口市の基幹管路の耐震適合率は令和4年度末で84.9%である。続いて近隣の自治体等との比較では、全国平均の耐震適合率が令和3年度末の指標で41.2%、埼玉県内自治体の平均が49.1%であり、川口市は全国平均を上回っている。 また地震で被害を受けている石川県の基幹管路の耐震適合率は36.8%であり、甚大な被害を受けている奥能登の6自治体の平均が31.7%と全国平均より低い状況であった。 川口市においては今後も耐震化の向上に努めていきたい。
委 員	近隣市はどうか。
上水道建設課長	さいたま市は基幹管路の耐震適合率が令和3年度末で75.6%である。つづいて蕨市は96.2%、戸田市は87.7%である。
浄水課長	配水池の耐震化率については、川口市は74.6%である。埼玉県全体が68.0%、近隣市ではさいたま市が70.8%、蕨市が80.9%、戸田市が100%となっている。
議 長	他に質問等があれば、お願いします。 (質問なし)

議 長	<p>以上で、本日の議題は終了した。 その他、質問や意見があれば、お願いします。</p> <p>(質問及び意見なし)</p>
議 長	<p>会議の進行を事務局に戻す。</p>
司 会	<p>ここで能登半島地震の被災地への派遣について活動報告を行う。</p> <p>－能登半島地震の被災地派遣報告－ ・石川県志賀町における応急給水活動及び応急復旧活動</p>
司 会	<p>以上で、本日の審議会を終了する。</p> <p>(終了 午後 3時10分)</p>